

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和2年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
池田市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援することを目的とする。 ○補助対象者:ハッピークラブ特定非営利活動法人	箇所数1カ所、利用者数1,841人、延開所日数152日  新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、4～5月・1月18日～2月は開催休止となり、上記の目標数値を下回ったが、休止期間中も安否確認や脳トレや体操についてのプリント等の配布を継続し、地域の高齢者の自立生活を支えた。	△	利用登録者のうち80%の割合(非該当を継続している人数68人/年度当初の利用登録者数86人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。	令和2年度の利用登録者数は67名。コロナ禍の影響により、休会する利用者や施設利用のため退会した利用者などが例年より増加した。高齢者の健康に大きく寄与していた食事提供の中止や度重なる開催休止等が高齢者の健康に及ぼす影響は大きい。感染対策を徹底しながら限られた活動の中でも、体操や口腔ケア・自宅周辺のトレーニングの継続を促し、今後も在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての役割を担っていく。	3,219,341		福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課
池田市	アクティブシニア応援事業	超少子高齢化社会を迎えた今、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する必要性が高まっている。本市では、高齢者が積極的に社会に参加し、元気でいきいきと生活できる環境づくりのための経費に充てるため、平成30年に1億円のアクティブシニア応援基金を創生。この基金を財源として、高齢者が地域で元気に生活できるよう、健康づくり、生きがいづくり等の事業に対して補助金を交付する。(年間1千万円上限) ○新たな取組または活動の立ち上げに関する事業:補助基準限度額100万円 補助率10分の10 交付限度額100万円 ○既存の取組または活動の活性化・拡充等に関する事業:補助基準限度額50万円 補助率5分の4 交付限度額40万円	事業申請17件(新規4件、継続13件)  コロナ禍により活動が制限され、全体の申請件数は目標値を下回ったものの、継続事業は前年度と同数であり高齢者の生きがいづくりや介護予防につながる事業を実施できた。	○	地域団体等の自主的な活動により、高齢者の福祉が増進されるとともに、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する場が増え、地域共生社会実現の一助となる。	平成30年度の事業開始以降、本事業の補助金交付を受けて高齢者の生きがいづくりや健康づくりに関する新たな事業が創設されるなど、当初の目的を果たしたため、令和2年度をもって事業廃止することとなった。	3,102,006		福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課
泉大津市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立支援を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体である市内2カ所の街かどデイハウスに対し、運営補助を行う。	箇所数:2カ所 延べ利用者数:4,011人 延べ開所数:455日  新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う活動縮小や人数制限によるもの	△	利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数300人/年度当初の利用登録者数300人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。	新型コロナウイルス感染症蔓延による高齢者の社会活動や活動量の低下とともに現れた延べ利用者数であるが、利用登録者の低下はそれほど見られないため、引き続き、高齢者の通いの場として役割を持つものと評価する。	8,010,600	<a href="http://www.city.izumiotsu.lg.jp/kaku/ka/fukushi/koreikaigo/gyoumunogonai/koureiisyafukushisabisu/matikadodeihousu.html">http://www.city.izumiotsu.lg.jp/kaku/ka/fukushi/koreikaigo/gyoumunogonai/koureiisyafukushisabisu/matikadodeihousu.html</a>	保険福祉部 高齢介護課
茨木市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、街かどデイハウス事業に対し、市が補助金を交付する。また、介護保険制度下で自立(非該当)と判断される高齢者に対して、住民参加による柔軟できめ細やかな介護予防及び地域支え合いに資するサービスを提供することで、高齢者の住み慣れた地域での自立生活の維持や閉じこもり防止の効果が期待できる。	箇所数:4箇所 延利用人数:5897人 延開所日数:483日  新型コロナウイルスの影響により開所できない期間が発生したため、延開所日数・延利用人数ともに目標数値を達成できなかった。	－	要介護認定における非該当継続率を利用登録者のうち95%以上とすることを旨とし、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築に繋げる。	利用者の減少を受け、引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に行い、地域の高齢者が安心して利用できるよう支援を行なう。	14,471,100		健康医療部 長寿介護課
富田林市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援する。	延べ利用者数1,370人、街かどデイハウス数2箇所、活動日数219日  新型コロナウイルス感染症拡大で府内にて2度の緊急事態宣言の影響により、閉鎖期間を余儀なくされたことで、2箇所とも活動日数及び延べ利用者数について、目標数値と比較してすべて大幅に減少した。	△	利用登録者の自立継続率100%	新型コロナウイルス感染症拡大が引き続き懸念されるが、街かどデイハウスが地域における身近な介護予防拠点及び集いの場として、高齢者自身の自立支援及び活動継続につながることに、引き続き介護予防(フレイル予防)への取組みへと繋げていく。	4,594,381		健康推進部 高齢介護課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和2年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
大東市	お茶のみ休憩所運営事業	社会福祉協議会が事業主体となり実施する「お茶のみ休憩所」に対して家賃・光熱水費等の運営に係る費用を補助するもの。「お茶のみ休憩所」は「気軽にふらっと寄り合える場」として、閉じこもり予防・介護予防の地域拠点となることを目的に実施される。内容は介護予防体操・茶話会・相談事業・福祉情報の提供・軽度認知症者の一時預かり・調理実習等。特長は当該区域の自治会や民生委員、介護者家族の会等で組織される運営委員会が運営主体となり地域の実情に合った創意工夫により運営が行われること。	開所日数:週2日、年間37日 コロナ禍で約8ヶ月開所した。運営委員の努力があったものの、目標数値を下回った為。	△	○閉じこもり予防 ○介護予防 ○仲間づくり ○家族介護者のレスパイト	(1)お茶のみ休憩所の月平均利用者は16.8名である。コロナ禍で閉所を余儀なくされたが、開所を待ち望む利用者は多かった。世話人や利用者同士の会話を通して、心の支えになっている利用者も多く、孤独感の解消を図る場として確立してきている。 (2)自宅から休憩所まで徒歩で来られる利用者も多く、閉じこもり防止や健康保持・介護予防を図るうえで大きな役割を担っている。	460,000	<a href="http://www.syakyu-daito.jp/syounkai.html#p03">http://www.syakyu-daito.jp/syounkai.html#p03</a>	福祉・子ども部 福祉政策課
和泉市	街かどデイハウス支援事業	本事業は、地域の身近な既存施設を活用して、介護保険制度下で自立と判定された高齢者等に対する介護予防を図りつつ、地域で高齢者の自立生活を支えられるよう住民参加による柔軟できめ細かなサービスを提供する団体を支援し、高齢者の多様なニーズに応えられる基盤整備を図ります。本市内に街かどデイハウスは8ヶ所あります。	箇所数:8か所 延利用者数:13,023人 延開所日数:1,740日 利用登録者のうち90%(非該当を継続する人数189人/年度当初の利用登録者210人)で要介護認定の非該当を継続することができた。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を果たすと評価する。	◎	利用登録者のうち80%(非該当を継続する人数168人/年度当初の利用登録者210人)で要介護認定の非該当を継続することを目指す。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を継続する。	令和2年度は、緊急事態宣言下で1日当たりの利用者が減少し、計画どおりの実施はできなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図り、三密を避ける工夫をしながら、利用者・スタッフがともにも協力して運営継続ができた。通所控えにより家の閉じこもりがちな利用者にはお電話などで様子を確認、自宅でできる体操等の情報提供を行ない、高齢者を孤立させないよう各施設が対応した。利用者は減少したが、90%の利用者が要介護認定の非該当を維持しており、本事業が在宅高齢者の介護予防に重点を置いた地域福祉活動の拠点として一定の役割を果たしているものと評価する。各施設でスタッフ、利用者共に高齢化しているが協力し、健康を維持し活動を継続している。利用控えた者のうち、認知症が進んだ者、要介護認定を受けた者の報告を複数の施設から受けており、第4波の影響も危惧されるが、高齢者が元気で地域で生活できるよう本事業の継続は重要であると思料する。	35,469,462	<a href="https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/koureiisha_kaijo/hukusi/1330598960196.html">https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/koureiisha_kaijo/hukusi/1330598960196.html</a>	福祉部 高齢介護室
箕面市	いきいき安心ネットワーク事業	独居高齢者世帯等に緊急通報システムを設置する	6,461件(年間延べ件数) 目標達成率:96% おおむね達成できた。	○	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・前年度の緊急出動回数182回、救急搬送回数43回	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・令和2年度の救急出動回数114回、救急搬送回数21回	4,808,681	<a href="https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/ji/osirase/documents/kinkyutuhopdf">https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/ji/osirase/documents/kinkyutuhopdf</a>	健康福祉部高齢福祉室
羽曳野市	街かどデイハウス支援事業	介護保険制度下で自立と判断される高齢者に対して、住民参加によるきめ細やかな介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、社会的孤立感の解消、心身機能の低下を防ぎ、要支援者・要介護者となるのを予防する。また、地域の福祉活動の拠点として高齢者の見守りや地域住民との交流を行うことにより地域の連携強化が図られる。	箇所数:2か所 延利用者数:4,266人、開所日数:302日 開所日数については目標数値をほぼ達成できたが、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言等もあり。延利用者数については目標数値(前年度数値)を下回る実績となった。	△	在宅高齢者の介護予防及び自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	令和2年度はコロナ禍の中での難しい運営ながら、水中ウォーキングや脳トレ、歌唱、読書会などそれぞれの街かどデイハウスの特色を生かし、運動器の機能向上や認知症予防といった介護予防につながる取り組みが行われた。活動を自粛された方に対しては電話による健康相談等を実施した。要介護(要支援)状態とならない取り組みとして、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築に寄与できた。	9,600,000	<a href="https://www.city.habikino.lg.jp/.../haise30koureisyaufukusigaidobuku.pdf">https://www.city.habikino.lg.jp/.../haise30koureisyaufukusigaidobuku.pdf</a>	保健福祉部介護予防支援室地域包括支援課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和2年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
門真市	街かどデイハウス支援事業	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、QOLの向上、閉じこもり予防の効果がある。今後も利用者数の増大を目指すとともに、利用者の更なる健康増進を図ることを目的とする。 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネット、介護予防事業としての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し運営補助を行う。 街かどデイハウスの数 2か所	箇所数:2箇所 延利用者数:1,713人 活動日数:158日 市内2箇所ですて街かどデイハウスが開設されている。新型コロナウイルスの影響により、3・4ヶ月間活動が中止になったため、延利用者数、活動日数は共に減少している。	△	平成29年度より1箇所が介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、現在は2箇所である。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点の構築。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行うことで自立の継続率90.1%(非該当の利用登録者数229人/年度当初の利用登録者数254人)を維持する。	新型コロナウイルスの影響により、3・4ヶ月間活動を中止していたものの、非該当の利用登録者数は187人と前年度と比較すると横ばいであり、自立の方の継続率が高いことから、介護予防事業として機能している。 新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら活動に工夫を凝らし、今後も地域における身近な介護予防拠点として、高齢者の自立支援・介護予防の推進を図り、高齢者の外出機会の創出・増加に努める。	4,195,026		保健福祉部 高齢福祉課
門真市	高齢者の健康づくり推進事業	門真市の健康寿命は、男性が府内42位、女性が最下位となっている。これまで高齢福祉課及びびくすのき広域連合で実施している健康づくり・介護予防施策に加え、地域貢献に意欲がある健康関連等の民間企業・団体もつノハウ等を活用し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。 健康に関するイベントやスポーツ活動や運動の機会の提供における健康意識の啓発等を公民協働で行う活動を行う。	教室2回 受講者33名(コロナで1回教室中止 予約者13名) コロナの影響により、屋内での教室の開催に対して取組が遅く、年4回を年3回で計画を立てて取り組んだ。レッドステージや緊急事態により、結局教室を2回しか実施ができなかった。	△	平成31年度 参加者数は74名であり、今年度はコロナの影響もあり教室の開催を秋以降実施し、参加者数を80名を目標とする。	コロナの状況を踏まえた教室開催を検討すべきであった。今後は教室という形態と同時に動画作成等で健康意識の啓発を行っていききたい。 参加者の声としては、教室参加者の満足度は高く、教室のテーマとしては継続して実施していきたい。	10,000		高齢福祉課
門真市	高齢者の見守りネットワーク事業	本格的な超高齢社会を迎える中で、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への見守り活動は、ますます重要になってきている。協力企業や団体等にステッカーを配布し、本事業の認知が広がることにより地域全体での見守り機運を高めることで、より広範な見守りを行い、支援が必要な高齢者を早期に発見し、支援につなげることにより住み慣れた地域において誰もが安心して暮らし続けられる社会を実現する。	新規1団体 新規で3団体協定を締結するよう目標にしていたが、1団体のみの締結となった。	△	令和2年度 通報件数 4件	新規協定先及び、希望する企業・団体等へ、ステッカー・シール・マグネットシートを追加配布したため、企業内・地域全体での見守り意欲をさらに高めていきたい。また、情報共有及び意見交換会のために会議の場を設ける等スムーズな連携に努めたい。	54,725		高齢福祉課
高石市	街かどデイハウス事業	在宅の高齢者の介護予防を図り、地域における既存施設を活用し、住民参加による高齢者の自立生活の支援を行う特定非営利活動法人等の団体に対し、運営補助を行う。 ・街かどデイハウスの箇所数 1箇所 ・前年度延べ利用者数 975人	利用延べ人数 851人 開所日 134日 新型コロナウイルスの影響で利用者が減少した為	△	利用登録者のうち96.6%の割合(非該当を継続している人数29人/年度当初の利用登録者数30人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。	高齢期をいきいきと過ごすことができるようになるためには、健康づくりを市民一人ひとりが意識し、運動や食事、休養等に取り組むことが重要ですが、仲間と共に取り組むことにより、ふれあいでも継続して行えます。そのため、高齢者が地域での主体的な健康づくりを促進するためのグループの育成や拠点の確保のため、市内の社会資源を活用しながら街ディのあり方等について再検討するとともに利用者のニーズに沿って、内容の充実や質的な向上を図っていく必要があります。	3,905,113.0		高齢・障がい福祉課
泉南市	泉南市街かどデイハウス支援事業	高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者の自立した生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。 ・街かどデイハウスの数 4箇所	箇所数:4か所 延利用者数:3,150人 開所日 611日 新型コロナウイルスの影響により、延べ利用人数・開所日どちらも昨年を上回ったものの、目標値は達成できなかった。また、本事業は今後の見通しも不明確なため、実施事業所が積極的に新規利用者の募集が難しいとの意見があったものの、高齢者の居場所作りのため、新規募集も積極的に行うよう依頼。	△	在宅高齢者の介護予防及び自立支援及び介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、現在は2箇所である。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点の構築。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行うことで自立の継続率90.1%(非該当の利用登録者数229人/年度当初の利用登録者数254人)を維持する。	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止に一定の効果あり。 ※介護認定を受けた者の中には、住宅改修のみを希望し、以後介護保険サービスは利用していない事例も複数あり。	14,240,000		福祉保険部長寿社会推進課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和2年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
四條畷市	街かどデイハウス事業	域で高齢者等の自立した生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとして、四條畷市唯一の街かどデイハウス事業(街かどデイハウスさんら(四條畷市中野新町11-35))に取り組み住民参加型非営利団体を支援するため、運営費(活動費、光熱水費及び電話代)補助を行う。(街かどデイハウスの数 1箇所)	箇所数:1箇所 延利用者数:759人(開所日数 132日) 年間事業計画に基づいて事業を遂行した結果、3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休止したが、1日あたりの来所人数は概ね設定した目標数値を達成することができた。	○	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数37名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が23名居るが、事業取組みにより要介護状態に至るのを遅らせることを目指す。	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数40名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が38名居るが、当事業での取組みが要介護認定に至らない効果に繋がった。	1,205,680		健康福祉部 高齢福祉課
交野市	街かどデイハウス支援事業補助金	介護予防や地域の高齢者との交流の場として、また、高齢者の活力を活かすことのできる場として、地域の活動拠点を整備し、下記のサービスを行います。 (1)必ず実施すべきサービス:健康チェック・給食・健康体操・筋力向上トレーニングなどの介護予防活動 (2)必要に応じて実施するサービス:趣味、創作活動 (3)利用者の希望に応じて実施するサービス:入浴 (4)その他:街かどデイハウスの数 2箇所	利用登録者の自立の継続率100% 箇所数:2か所 延利用人数:1440人 年間活動日数:196日 利用登録者のうち、数名が要介護認定を受けたため。	△	利用登録者の自立の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図られた。	引き続き、利用登録者の自立の継続を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉の福祉活動拠点としての機能構築を図っていきたい。	3,206,430		福祉部 高齢介護課
島本町	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組み住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うもの。 街かどデイハウス箇所数:1箇所	1箇所 延利用者986名 新型コロナ感染症拡大防止のため2ヵ月休止したことにより延べ利用者数は減少した。さらに、再開後も、コロナ禍の中利用者は伸び悩んだ。今後について、感染症対策を行いながら、引き続き新規の方でも参加しやすいように多くの方に周知していく必要がある。	△	要支援・要介護認定を受けていない自立の高齢者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活を維持し、閉じこもり防止を図る。	利用登録者のうち約83%の方が、要介護認定を申請していない方であることから、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後の課題として、感染症対策を行いながら、より多くの方に参加してもらえよう、周知する方法を検討する必要がある。	2,888,327	<a href="http://www.shimamotocho.jp/gyousai/kakuka/kenkou/hukushin/ikikikenkouka/menchosya/fukushi/menchosya/fukushi/service/131045785294.html">http://www.shimamotocho.jp/gyousai/kakuka/kenkou/hukushin/ikikikenkouka/menchosya/fukushi/menchosya/fukushi/service/131045785294.html</a>	健康福祉部 いいき健康課
島本町	ひとり暮らし高齢者等実態把握事業	住民基本台帳上、ひとり暮らしである高齢者に対し、ひとり暮らし高齢者実態把握事業を周知し、該当者から登録の同意を得る。台帳の作成に同意された方の情報を行政と民生委員児童委員で保有し、日頃の見守りや安否確認に活用する。	227名 今年度、新たにひとり暮らしとなった方を対象に調査を実施することができた。	○	65歳以上のひとり暮らし高齢者の緊急連絡先を把握することにより、日頃の見守り活動を充実させる。	今年度の調査で返答があった数は138件で返答率は60.8%であった。今後の課題としてはより多くの方に制度を理解していただくように内容の検討や多くの方に周知していく必要がある。	283,898		健康福祉部 いいき健康課
田尻町	田尻町高齢者生きがい事業	田尻町社会福祉協議会に委託して、田尻町内に居住する概ね60歳以上の高齢者の方を対象に、生きがいづくりのために生きがいづくり教室を開催する。DVDを見ながら椅子に座って行える体操や脳トレクイズ・筋トレ・レクリエーション教室を実施し、生きがいづくりや健康維持・介護予防を自発的に行う高齢者を増やすことを目的に、田尻町高齢者生きがい教室を実施する。教室のメニュー作りや、参加者の運動能力を理学療法士が確認し指導することで、高齢者誰もが安心して参加することができ、自発的に自分の生きがいづくりのために教室に参加する高齢者が増える。また、高齢者自らが生きがいづくり活動を行う際の居場所や高齢者同士の交流拠点の提供を行う。 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で生きがいづくり教室が開催できず、また、高齢者は自宅で自粛していることから、生きがいづくり教室が開催できない期間については、高齢者が生活不活病になることを防止し、生きがいを持って生活できるよう、地域の集会所にて、生きがいづくりの啓発物を配布するとともに、高齢者の状態を把握し、支援が必要な方には他事業につなげる。	開催回数4月～3月:週5回×4週 のべ参加人数3,085人 新型コロナウイルス感染症予防のため、当初予定した回数を開催できず、目標数値を達成できなかったが、高齢者が自粛期間中に生活不活病になることを防止し、生きがいを持って生活できるように資料の配布・啓発を行い、高齢者の生きがいづくりにつなげることができた。	○	高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。60%以上/参加者総数:体力の維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)及び理学療法士1名(週2回) 定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回) 上記が開催できない期間中は、地域での生きがいづくり事業を開催。(週3回)	コロナ禍であっても、高齢者が生活不活病にならないように、生きがいづくりにつながるような資料の配布・啓発を行う。新型コロナウイルス終息後は、町内の高齢者が積極的に参加したくなるような生きがいづくり教室を開催するとともに、高齢者自らが生きがいづくり活動を行うことができるように居場所や交流拠点の提供を行う。	7,431,911		民生部 福祉課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和2年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
岬町	町営住宅独居高齢者等見守り事業	月2回程度、独居高齢者が多く住む町営住宅を見守り訪問員が訪問し、見守り活動を行う。	巡回員4人×月2回×11カ月、巡回員3人×月2回×1カ月 延べ94人で事業実施 巡回員の一人が仕事の都合により欠席したため一部実施できず。	△	本年度も巡回見守りを予定通りに実施することにより高齢者の孤独死を未然に防ぐことを目指す。	令和2年度も巡回見守りをほぼ実施することにより、高齢者の孤独死等を未然に防ぐことが出来た。今後ますます高齢化や核家族化の進展により独居高齢者の増加が見込まれるため引き続き巡回見守り活動を継続的に実施する必要性が高い。	376,000		しあわせ創造部福祉課